

第9回 部門別会員連絡会「駅施設部門」の開催

鉄道国際規格センターは、会員の皆さまとともに、鉄道分野の国際標準化など国際規格に関わる活動を推進しています。

2026 年7月23日に、第9回部門別会員連絡会「駅施設部門」(宮本座長(日本信号株式会社))をオンラインで開催しましたので、その活動を報告します。

第9回を迎えた連絡会では、鉄道総研の担当者より、ISO/TC 269(鉄道)/WG 8(ホームドア)、ISO/TC 204(高度道路交通システム)/WG 8(出改札)の規格開発動向について報告を行いました。この他、鉄道総研の担当者からは、欧州のホームドアに関する最近の動向を紹介いたしました。

これらの報告から、ISO 24852「ABT(Account Based Ticketing)」(※1)の規格化の背景をはじめ、ホームドアと駅プラットフォーム間に生じる隙間に対する日欧の考え方の違い、ホームドアの感電対策、鉛直方向に動くホームドアの規格化提案の動向など、幅広い視点から活発な意見交換が行われました。特に、国際規格審議における提案の反映に関する話題に関連して、2009年に発行された IEC 62267 AUGT(Automated Urban Guided Transport、自動運転)規格(※2)への、日本提案採用までの数年間に及ぶ経緯などが紹介され、国際標準化は長年にわたる歴史の積み重ねであることなどが共有されました。

鉄道国際規格センターでは、引き続き標準化の取り組みや、国際規格に関する最新動向を共有し、会員の皆様の活動を支援して参ります。

※1 ABT(Account Based Ticketing):(乗車券類の情報を IC カード等の旅客媒体ではなく、クラウド上のサーバーで管理する出改札システムであり、TC204:ITS にて議論されている(下図参照)。)

※2 AUGT(Automated Urban Guided Transport、自動運転)規格:(独立した軌道を自動で自走する無人・自動運転交通システムの安全性要件を定める規格)

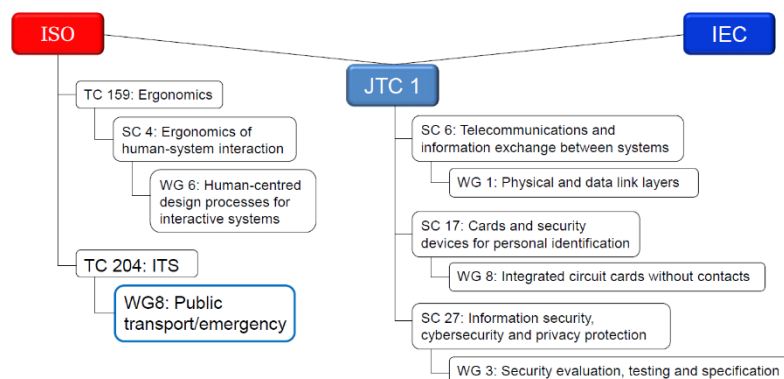


図 出改札に関する 作業グループ

(問い合わせ先) 公益財団法人鉄道総合技術研究所 鉄道国際規格センター
TEL:042-573-7234